

第5回 在宅医療を支える

多職種学習会

2025. 12. 16 (火)
18:30 - 20:15

テーマ 看取りの文化を 苫小牧で はぐくむには

講演 「現状確認ツール IMADOKO」を
活用した 多職種連携
～ 多職種に求められる視点～

おい在宅緩和
ケアクリニック 院長
NPO法人くみサポ
共同代表理事
大井裕子 さん



看取りの文化を はぐくむには...

もっと前から...
もっと元気なうちから...
普段から話したら...

自分の「職務」から離れて
「1人の人間」として話す

私の あなたの
「死生観」
話す相手がいる
聞いてくれる人がいる

私の経験は...
私だったら...

カードゲーム
グループで
相談

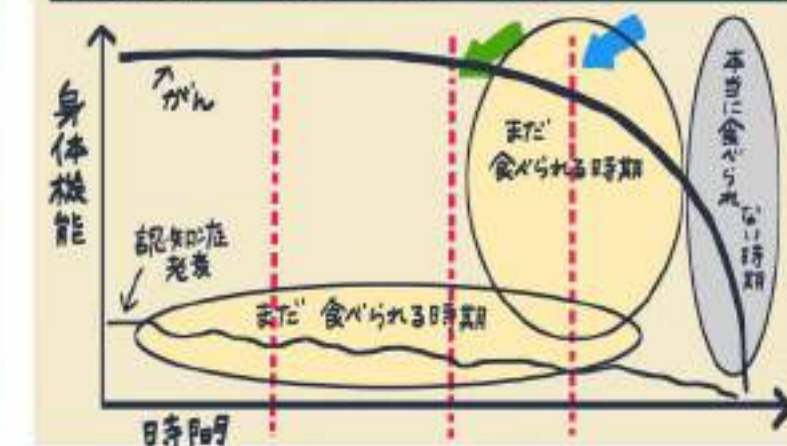
専門分野
得意分野の
人につなげる!

対象者を
決めず
オープンに!

思いを語れる場を作ろう

糸内棺師の
メイクが
母らしくない...
だから別れの
整理がついた

現状確認ツール IMADOKO 活用しよう!



「まだ 食べられる時期」大切に!

やわらかいもの
用意してみる
トロミつけてみる

無理に
食べさせない

栄養補助
食品を
利用してみる

「どんな状態でも 住み慣れた地域で 最後まで暮らせる」



- IMADOKO ① 外出や通院が負担
- IMADOKO ② 家事・食卓までの移動が負担
- IMADOKO ③ 入浴が負担
- トイレ移動が負担
- 本当に食べられない

今できているところから
「いまどこ?」
確認!

現状把握

必要なサービス
つなぐ

1日の変化に
ふれる
1日のケア

質疑応答、感想

「誰もが使って良いツール」
チームで使い、共有したい!

「看取りを語り合える文化」
苫小牧で育みたい。

「ミモザの会」コアメンバーで
結成!

今後は多職種と
連携する予定

Q: 「死生観の言語化」
「自分らしく聞かれる」
場の準備は?
人物、出来事、頻度は?

A: 認知症サロン、NPOなど...

「手伝ってほしい!」

「一緒にやりませんか?」

すでに開催している
人々の輪をたがえる!

開きPOINT

休憩を 閉き争も
入れる 移動
2人で 終わったら
開く 入り語り

Q: 「人生会議」
最も良い開催のタイミングは?

A: 早ければ早いほど...!

「認知症になったら
どうしたらいいんだろう...」

当事者の声も 元気な今だから
たくさんある! 一緒に
考えよう

Q: 歯科医師に
求めるものは?

A: 言わない医師

→ 来れなくなったら

どこにつなげる?
情報提供を!

訪問する医師

→ IMADOKO活用して
現状を把握。

口腔ケアの実施で
気持ち良くすごせる

よう...

家族や
多職種への
アドバイスも!



講評

北海道家庭医療学センター
理事長 草場金鉄周さん

3

① 自分自身を語ること

「看取り」= 人間として自然な営み

→ 「医療」になると分析... 細分化...

患者目線に合わせ、
仕切らずバックアップ!

② IMADOKOツールの すばらしさ

見通しを立てる

↓
後手後手にならず
生活に添う

看取りを
医療化しない!
当たり前になり過ぎる!



苫小牧で 看取りの文化を 育みましょう